

| | |
|---------|--|
| 氏名 | 本 淨 修 己 |
| 授与した学位 | 博 士 |
| 専攻分野の名称 | 医 学 |
| 学位授与番号 | 博甲第 2995 号 |
| 学位授与の日付 | 平成17年6月30日 |
| 学位授与の要件 | 医学研究科外科系心臓血管外科学専攻 (学位規則第4条第1項該当) |
| 学位論文題目 | Digital radiographic Quantification of Myocardial Blood Flow Around a Transmyocardial Laser Channel in Rabbit Hearts (ウサギ心の心筋内レーザー血行再建術におけるDigital radiographyによる心筋血流量の定量的評価) |
| 論文審査委員 | 教授 大江 透 教授 松井秀樹 助教授 黒田昌宏 |

学位論文内容の要旨

^3H -Desmethylinipramine (^3H DMI)を用いた Digital radiography にて心筋内レーザー血行再建術 (TMLR) channel の血流を評価した。日本白兔を開胸し左室に TMLR channel を作成、8週後左心耳より ^3H DMI を注入した。左室心筋を切片にし、imaging plate にて感光、 ^3H DMI 密度を評価した。 ^3H DMI 密度は surrounding area で高く、channel remnant で低かった。3層間で ^3H DMI 密度に差はなかった。変動係数は surrounding area で低く、channel remnant で高かった。Surrounding area の変動係数は3層全てで低値であった。Surrounding area の血流増加及び変動係数低下は心筋微小構造、生理条件の変化を意味し、局所酸素供給、狭心痛改善に寄与すると示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、心筋内レーザー血行再建術による心筋血流量を検討してものである。日本白兔の左室心筋にレーザー血行再建術を施行し、digital radiography : ^3H DMI を用いて心筋血流量を評価した結果、血流量は surrounding area で高く、チャンネル remnant で低かった。本研究は、従来十分確立されていなかった心筋内レーザー血行再建術による心筋血流量に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。